

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年(全員必修)
使用教科書	東京書籍出版『新編 現代の国語』				
副教材等	第一学習社『意味から学ぶ常用漢字』、国語辞典				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成します。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

- ①基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ②文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の点を踏まえ、 ・定期考査・課題テスト、漢字小テスト等の分析 ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容の確認 などから評価します。	以上の点を踏まえ、 ・定期考査・課題テスト、小テスト等の分析 ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容の確認 ・意見文、感想文等の内容の確認 などから評価します。	以上の点を踏まえ、 ・授業や学習活動へ取組態度の観察 ・課題やプリント、ノート等提出物の取組状況と内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる（75%以上）」「B：おおむね満足できる（40%以上）」「C：努力を要する（39%以下）」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は、授業で説明します。		

6 学習計画 A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと

月	単 元 名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	自 己 を 見 つ め る	3 h (A 1 h B 1 h C 1 h)	随想「こそ そめスー プ」村田 沙耶香	・筆者の思いの変化に注意しながら、筆者の人間に対する考え方を読み取る。 ・筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出し、言葉の持つはたらきについて考える。	3	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
		3 h (A 1 h B 1 h C 1 h)	随想「ルリ ボシカミキ リの青」 福岡伸一	・随想を読み、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・筆者の少年時代の体験について、文章を読み、自分に当てはめて考える。	3	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
5		3 h (A 2 h B 1 h)	気になるニ ュースにつ いて話そう	・日常生活において気になる情報を収集・整理し、構成を考えて発表メモを作る。 ・「話し方のポイント」「聞き方のポイント」をもとに相互に発表し、メモを取りながら聞く。	3	・ワークシート、発表の内容の分析 ・ICTを活用したグループワーク、発表、聞く態度の観察、振り返りの分析
		定 期 考 査	1 h (B)		1	・定期考査の分析
	他 者 に 出 会 う	4 h (A 2 h B 1 h C 1 h)	評論「未来 を作る想像 力」 石田英敬	・論の展開に注意しながら読み、意見の根拠を理解して、筆者の主張をつかむ。 ・本文の内容をふまえて、実際の生活やメディアの特長について考え、話し合う。	4	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
6						

		5 h (A 2 h B 2 h C 1 h)	評論 「水の東西」 山崎正和	・評論を読んでその内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取る。 ・西洋と日本を対比的に論じる文章を通して、水に対する日本人の感性を捉える。 ・日本文化について興味や関心を持ったことをレポートし、発表する。	5	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
	定期考査	1 h (B)			1	・定期考査の分析
7	社会と関わる	5 h (A 1 h B 2 h C 2 h)	随想「鍋洗いの日々」 村上信夫	・筆者の物の見方を読み取り、自分自身の生き方について考えを深める。 ・自分の道を切り開いた筆者の体験から、仕事に対する思いを読み取る。	5	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
8		4 h (A 2 h B 2 h)	憧れの職業について調べ、整理してまとめよう	・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して伝えたいことを明確にまとめる。	4	・ワークシート、発表の内容の分析 ・ICTを活用したグループワーク、発表、聞く態度の観察、振り返りの分析
9		4 h (A 1 h B 2 h C 1 h)	随想「真夏のひしこ漁」 矢田勝美	・筆者が描く情景に注目しながら、自然を相手にする漁師の困難さを読み取る。 ・漁船に乗って筆者が感じた思いを捉え、自分もどのように感じたか、意見を話し合う。	4	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
10	定期考査	1 h (B)			1	・定期考査の分析
	視野を広げる	5 h (A 1 h B 3 h C 1 h)	評論 「無彩色」港千尋	・取り上げられている具体例をおさえながら、灰色に対する筆者の評価とその理由を読み取る。 ・筆者の主張をふまえて、カラー写真と白黒写真を比較し、気づいたことを話し合う。	5	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析

11	世 界 と つ な が る	6 h (A 1 h B 3 h C 2 h)	評論 「美しさの 発見」 高階秀爾	・文章構成や展開に注意して、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の考える「美しさの発見」とは何か捉え、筆者の価値観を理解する。 ・『『美しさ』を知るために、日頃からどのようなことを心がける必要があるか、話し合う。	6	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
12	定 期 考 査	1h (B)			1	・定期考査の分析
		6 h (A 2 h B 2 h C 2 h)	評論 「不思議な 拍手」細馬 宏通	・出来事に即して推論し、最後に結論を導き出す論理的な文章の流れに注意しながら、筆者の主張を読み取る、 ・この「拍手」について、筆者が捉えようとしていることを理解し、人間の心・意識についての理解を深める。	6	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
1	未 来 に 目 を 向 ける	7 h (A 2 h B 3 h C 2 h)	評論 「真の自立 とは」 鷲田清一	・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・現代における「若い」や、「自立」について筆者の言う「自立」という観点から考え、話し合う。 ・筆者の問いかけについて、考えたことを文章にまとめる。	7	・定期考査、小テスト ・課題やプリント、ノート等、提出物の内容確認 ・ワークシートの分析 ・授業中の取組の観察、課題の取組状況、振り返りの分析
2	定 期 考 査	1 h (B)			1	・定期考査の分析
	言 葉 と 生 活 2	4 h (A 2 h B 2 h)	発想を広げ る方法を使 って話し合 おう	・グループで、各自が考えた社会問題について一つ選び、ブレインストーミング、カードによるグルーピングを使って、具体的な改善プランを話し合い、発表する。 ・ある新聞記事の内容を要約し、読み取ったことをもとに意見文の内容を考え書く。	4	・ワークシート、発表の内容の分析 ・ICTを活用したグループワーク、発表、聞く態度の観察、振り返りの分析
3			新聞記事を読 んで意見文を書 こう			

計64時間（55分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「話すこと・聞くこ と」 20 時間	B 「書くこと」 30 時間	C 「読むこと」 14 時間
-----------------	-------------------------	-------------------	-------------------